

第3学年〇組道徳指導案

平成27年 月 日 () 第 時限
指導者

- 1 主 題 正義を重んじ公正・公平な社会を〈4－(3)正義、公正・公平〉
- 2 資 料 名 卒業文集最後の二行〈出典 中学生の道徳3 自分をのばす〉
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生という時期は、社会の在り方にも目を向けることができ、現実社会の課題や矛盾に気付く、理想を求める気持ちや正義感が高まってくる。また、自分と周囲との関係、特に友人や同級生との関係に敏感になり、他人にどう見られているかということに強い関心をもつ時期である。そのため、「周囲の人に良く思われたい」「嫌われたくない」といった思いから、周囲の意見に流されることがある。内心では、不正と分かっている。しかし、いざ、目の前で起こると行動が起こせない。誰もが1度はこのような経験をし、心の中で葛藤を繰り返していると考えられる。

正義を貫き通すことの大切さに今一度気付き、誰にでも公正・公平に接することが大切である。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は、対立するよりも相手の言い分を受け入れるといった穏健的な考えをもつ生徒が多い。そのため学級内でのトラブルは少なく落ち着いているように感じる。いじめというものは、離れた状況にあるといってもよい。その反面、自分の意見が正しいか分からないことなどを理由に、話し合いでは周囲の意見に流され、自分の意見を通すことを苦手とする生徒もいる。また、いじめについて考える機会が少なく、表面的にいじめはいけないことと思っているが、思うだけで終わりという状況にある。正しいことを言える心の強さを持ち、誰に対しても公正・公平に接する態度を育成する必要がある。

(3) 資料について

本資料は、主人公の小学校時代の忘れられない苦い思いを描いたエッセイである。

主人公である筆者はT子の外見を理由にいじめを行っていた。T子が担任に言わないことを知り、さらにいじめは続いていく。ある日のテストで筆者はT子の解答をカンニングし、満点を取る。T子は98点を取り、筆者は自分の行いに衝撃を受ける。そのT子にカンニング疑惑が上がり、周囲から中傷の言葉が向けられる。当初は様子をうかがっていた筆者も周囲に流されるがまま、中傷に加わっていく。やがて卒業を迎え、渡された卒業文集の中からT子の作文を見つける。最後の2行に込められたT子の深い悲しみと苦しみに気が付いた筆者は、いじめたことへの大いなる反省と懺悔の気持ちをもつことになる。それから数十年、過去の自分の行為に苦しみ続ける筆者の心に焦点を当てることで、人間らしく生きることの意義を考えさせ、偏見やいじめに立ち向かう強い正義感を培うことができる資料である。本時では、内容をより深めるために、事前に資料を読み、授業をすすめていく。

4 ねらい

- 筆者の体験について考え、共有する活動を通して、公正・公平な意識を高める。

5 準 備 (教) ワークシート、発表ボード、事前アンケート

(生) 中学生の道徳

6 ねらいに迫るための言語活動

本時では、中心となる発問を話し合う際に、グループでの意見交換を行う。少数での意見交換を行うことで、自分の意思を伝え、他者の意見を聞きやすい状況を設定できる。また、発表ボードを使い、より多くの意見を授業に取り入れていく。

7 指導過程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
3	<p>1 いじめに関する事前アンケートの結果を知る。</p> <p>△ 何がいじめなのかという事前アンケートの結果を確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪口 ・ 無視 ・ 殴る ・ 嫌がらせ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何気ない発言や行為が相手にとっては、いじめになることを確認し、自分の身近にもいじめが起こりうることを押さえる。 ○ 本時ではいじめについて考えることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめが自分たちの身近な問題と捉えることができたか。(観察)
5 00	<p>2 資料の大まかな内容をつかむ。</p> <p>△ この話の流れを確認しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の内容の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大まかな内容をつかむことができたか。(発表・観察)
7 05	<p>3 卒業文集の2行を読んだ「筆者」の気持ちを考える。</p> <p>△ T子さんの卒業文集最後の二行を見て、筆者が果てもなく泣いたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カンニングをしたことを言えなかった心の弱さを思い出し、T子さんを悪く言った自分を後悔したから。 ・ 見た目が汚いことと、心の汚さを同じことと考えてしまったことへの反省の気持ちがあったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挙手、発表させる。 ○ T子さんの心の痛みに気づき、心ない行為をしたことへの後悔や反省する筆者の気持ちを捉えさせる。 ○ T子にこの2行を書かせたのは筆者であることを押さえる。 ○ 人生が変わるほどの衝撃だったことを押さえる。 ○ これまでに筆者がT子にした行為を振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の深い反省の気持ちに気づくことができたか。(発表・観察)
10 25	<p>4 卒業文集の2行に込めた「T子」の気持ちを考える。</p> <p>△ 卒業文集の2行にはT子さんどんな気持ちが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もういじめられたくない。 ・ 今まで苦しんでいた。本当に苦しかった。 ・ ずっといじめられ続けた私は、見た目で判断しない、本当の友達がほしい。 ・ きれいな服を着てさえいけば、いじめられることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挙手、発表させる。 ○ 亡くなった母(人の命)より友達を選ぶ心情を考えさせる。 ○ 友達ではなく、「本当の」友達と書いてあることに注目させる。 ○ あえて卒業文集の最後の2行に込めた思いを考えさせる。 ○ 一つに意見をまとめず、どの意見も認め、生徒の考えを広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめられた側の深い悲しみや苦しみを理解できたか。(発表・観察)

<p>20 □450</p>	<p>5 筆者の行動を見直す。</p> <p>▲ T子を救うために筆者は何をすれば良かったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T子を助ける。 ・ 悪口を言わない。 ・ 自分が傷ついても、本当のことを言う。 ・ いじめない。 ・ いじめが起きる前にできることがあると思う。 ・ T子の良さを認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートを配付し、自分の考えをまとめさせる。 ○ グループでの意見交換を行い、発表ボードにグループの意見を書かせる。 ○ 発表ボードに書く意見は一つにまとめず、いくつか書いて良いことを伝える。 ○ いじめを行った筆者の行動を見直し、正義を貫くことの大切さを考えさせる。 ○ 発表の際には、教師が出てきた意見に切り返しの発問を行い、生徒の中に葛藤を作り出し、考えを深めさせる。 ○ いじめが起きた後に筆者が取るべき行動を取り上げ、認めていくが、いじめが起きてしまっていることを確認し、起きてからでは本当の意味で救うことにはならないことを伝える。 ○ いじめが起きる前から何ができるのかを考えさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いじめを無くすためには、誰にでも公正・公平に接することが必要であることに気付くことができたか。</p> <p>(ワークシート ・発表)</p> </div>
<p>5 □500</p>	<p>6 教師の話聞き、本時の感想を書く。</p> <p>△ 本時の内容に関わる話をする。</p> <p>△ 授業を通して考えたこと、学んだことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が正しいと思った行動ができないと後悔と懺悔の念を持ち続けなければならない場合があることを知らせる。 ○ ワークシートに書かせ、数名に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段の生活から公正・公平に接しようとする気持ちが高まったか。 <p>(ワークシート・観察)</p>

8 授業者の考え、願い

本校でいじめが起きたということを耳にすることは、ほとんどないと言える。そのようないじめが起きていない状況だからこそ、いじめについて考えることは予防的にも、生徒の内面の成長のためにも価値のあることと考える。生徒自身もいじめが悪いこととは分かっている。しかし、何がいじめなのかを考えたり、どうすればいじめが無くなるのかということを考えたりした経験がある生徒は少ない。本時では、T子の書いた衝撃的な2行をもとに、生徒一人一人が正しいことを言える心の強さを高めていきたい。